

仕様表

■ JIS C 9220:2018に基づく表示

システム形式		DN371GHBXC	DN461GHBXC	DN371GHBCS	DN461GHBCS	DN371GHBS	DN461GHBS	DN371GHS	DN461GHS	DN372GHS	DN371GHSE	DN461GHSE	DN371GHPK	DN461GHPK	
給湯タイプ		フルオート													
設置地域		一般地									一般地(塩害地)		寒冷地		
シリーズ		高性能シリーズ		標準シリーズ(外でも給湯対応)		標準シリーズ		標準シリーズ(3階湯はり対応)		薄型シリーズ	標準シリーズ(3階湯はり対応)		標準シリーズ(3階湯はり対応)		
システム	適応地域	省エネルギー基準4～8地域(次世代省エネルギー基準Ⅲ～Ⅵ地域)												平成25年基準では1～3地域 (次世代省エネルギー基準Ⅰ・Ⅱ地域)	
	適用電力制度※1	季節別時間帯別電灯型/時間帯別電灯型(通電制御型)													
	使用電源 (相数/定格電圧/周波数)	単相200V 50/60Hz													
	最大電流	17A		19A		17A						19A			
	年間給湯 保温効率 (JIS)※2	ふろ熱回収あり 4.0	3.9	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.4	3.2	3.4	3.4	3.1	3.1	
アパレル	寒冷地年間 給湯保温効率 (JIS)※4	ふろ熱回収あり -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.8	2.8	
	沸き上げ温度範囲※5	約65～90℃													
	貯湯ユニット形式	DNTA371GHBXC	DNTA461GHBXC	DNTA371GHBC	DNTA461GHBC	DNTA371GHB	DNTA461GHB	DNTA371GH	DNTA461GH	DNTA372GH	DNTA371GHKE	DNTA461GHKE	DNTA371GHKE	DNTA461GHKE	
	設置場所	屋外型													
	貯湯タンク容量	370L	460L	370L	460L	370L	460L	370L	460L	370L	370L	460L	370L	460L	
消費電力	水側最高使用圧力 (減圧弁設定圧力)	320kPa(280kPa)													
	外形寸法(mm) (高さ×幅×奥行)	1,825×635×730	2,165×635×730	1,825×635×730	2,165×635×730	1,825×635×730	2,165×635×730	1,825×635×730	2,165×635×730	1,818×448×1,090	1,825×635×730	2,165×635×730	1,825×635×730	2,165×635×730	
	質量(満水時)	約73kg (約443kg)	約82kg (約542kg)	約72kg (約442kg)	約81kg (約541kg)	約71kg (約441kg)	約80kg (約540kg)	約70kg (約440kg)	約79kg (約539kg)	約85kg (約455kg)	約70kg (約440kg)	約79kg (約539kg)	約70kg (約440kg)	約79kg (約539kg)	
	追いだしポンプ	30W													
	ふろポンプ	65W													
制御用	凍結防止 ヒーター	-									30W(ただし 冬期のみ 作動)		45W(ただし冬期のみ作動)		
	制御用	5W(リモコン消灯時3W)													
	ヒートポンプユニット形式	DNHP45GX	DNHP60GX	DNHP45ES	DNHP60ES	DNHP45ES	DNHP60ES	DNHP45ES	DNHP60ES	DNHP45ES	DNHP45ESE	DNHP60ESE	DNHP45EPK	DNHP60EPK	
ユーティリティ	外形寸法(mm) (高さ×幅×奥行)	690×820 [カバー部+80]× 300	690×820 [カバー部+80]× 300	650×820 [カバー部+80]× 300	650×820 [カバー部+80]× 300	650×820 [カバー部+80]× 300	650×820 [カバー部+80]× 300	650×820 [カバー部+80]× 300	650×820 [カバー部+80]× 300	650×820 [カバー部+80]× 300	650×820 [カバー部+80]× 300	650×820 [カバー部+80]× 300	650×820 [カバー部+80]× 300	650×820 [カバー部+80]× 300	
	質量	55kg	55kg	48kg	50kg	48kg	50kg	48kg	50kg	48kg	48kg	50kg	51kg	52kg	
	中間期標準加熱能力/ 消費電力※6	4.5kW/ 0.885kW	6.0kW/ 1.230kW	4.5kW/ 0.970kW	6.0kW/ 1.325kW	4.5kW/ 0.970kW	6.0kW/ 1.325kW	4.5kW/ 0.970kW	6.0kW/ 1.325kW	4.5kW/ 0.970kW	4.5kW/ 0.970kW	6.0kW/ 1.325kW	4.5kW/ 1.025kW	6.0kW/ 1.365kW	
	冬期高温加熱能力/ 消費電力※7	4.5kW/ 1.500kW	6.0kW/ 2.000kW	4.5kW/ 1.500kW	6.0kW/ 2.000kW	4.5kW/ 1.500kW	6.0kW/ 2.000kW	4.5kW/ 1.500kW	6.0kW/ 2.000kW	4.5kW/ 1.500kW	4.5kW/ 1.500kW	6.0kW/ 2.000kW	4.5kW/ 1.500kW	6.0kW/ 2.000kW	
	中間期標準運転電流	5.8A	7.1A	6.0A	7.2A	6.0A	7.2A	6.0A	7.2A	6.0A	6.0A	7.2A	6.1A	7.3A	
	寒冷地冬期高温加熱能力※8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.5kW	6.0kW	
	運転音 (音響パワーレベル) (中間期※6/冬期※7)※9	51dB/56dB	55dB/58dB	51dB/56dB	55dB/58dB	51dB/56dB	55dB/58dB	51dB/56dB	55dB/58dB	51dB/56dB	51dB/56dB	55dB/58dB	51dB/56dB	55dB/58dB	
	設置可能最低外気温度	-10℃												-25℃※10	
設計圧力 高圧/低圧		14.0MPa/8.5MPa													
冷媒の種類/充填量		CO2/0.880kg	CO2/0.880kg	CO2/0.675kg	CO2/0.725kg	CO2/0.675kg	CO2/0.725kg	CO2/0.675kg	CO2/0.725kg	CO2/0.675kg	CO2/0.675kg	CO2/0.725kg	CO2/0.540kg	CO2/0.700kg	

■ JIS C 9220:2011に基づく表示 省エネルギー法に基づく区分名及び年間給湯保温効率

システム形式		DN371GHBXC	DN461GHBXC	DN371GHBCS	DN461GHBCS	DN371GHBS	DN461GHBS	DN371GHS	DN461GHS	DN372GHS	DN371GHSE	DN461GHSE	DN371GHPK	DN461GHPK
システム	年間給湯保温効率(JIS)※2	3.9	3.8	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.3	3.1	3.3	3.3	3.0	3.0
	区分名※3	17	17	17	17	17	17	17	17	18	17	17	-	-
	寒冷地年間給湯保温効率(JIS)※4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.7	2.7
	区分名※3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21	21

※1.季節別時間帯別の対応電力制度は、電力会社により異なります。

※2.年間給湯保温効率(JIS)は、JIS C 9220に基づき、ヒートポンプ給湯機を運転したときの単位消費電力あたりの給湯熱量及び保温熱量を表したものです。地域条件:運転モードの設定やご使用条件等により変わります。年間給湯保温効率(JIS)=1年間で使用する給湯と保温に係る熱量÷1年間に必要な消費電力量<年間給湯保温効率(JIS)算出時の条件>着霜期高温加熱条件:外気温(乾球温度/湿球温度)2℃/1℃、水温5℃、沸き上げ温度90℃ 寒冷地冬期高温条件:外気温(乾球温度/湿球温度)-7℃/-8℃、水温5℃、沸き上げ温度90℃(寒冷地向け) [高性能シリーズ、標準シリーズ]冬期給湯モード条件時の沸き上げ温度67℃(460Lタイプは65℃)着霜期給湯モード条件時の沸き上げ温度67℃(460Lタイプは65℃) 夜間消費電力量比率(冬期給湯モード性能試験条件時):80% [薄型シリーズ]冬期給湯モード条件時の沸き上げ温度69℃ 着霜期給湯モード条件時の沸き上げ温度69℃ 夜間消費電力量比率(冬期給湯モード性能試験条件時) 80%

※3.省エネ区分、目標基準値一覧表は、一般社団法人日本冷凍空調工業会ホームページに記載されていますので、参照してください。なお、下記表はデンソー エコキュートが該当する区分のみを抜粋しています。

区分					2017年度省エネ基準エネルギー消費効率(年間給湯保温効率)	
区分名	想定世帯	貯湯容量	仕様	保温機能	貯湯缶数	
17	標準	320 L 以上	寒冷地仕様以外	有	一缶	3.3
18		550 L 未満	寒冷地仕様		二缶	2.8
21					一缶	2.7

保温機能とは、ふろの湯を保温する機能の“有”・“無”を表しています

運転音の測定方法が変更になりました。従来の「音圧レベル(騒音レベル)」はJIS改正で定めたある1点で測定したものでしたが、今回採用された「音響パワーレベル」は、周囲に発するすべての音響エネルギーを評価したものです。国際的な評価方法の統一を図るため、当表示を開始しました。製品の運転音が大きくなった訳ではございません。詳しくは、一般社団法人 日本冷凍空調工業会のホームページをご覧ください。(http://www.jraia.or.jp)

※4.寒冷地年間給湯保温効率(JIS)は、平成25年基準では3地域(次世代省エネルギー基準Ⅱ地域)を想定し、年間給湯保温効率(JIS)を表したものです。

※5.ヒートポンプユニットで沸き上げる温度です。貯湯タンク内の湯温は配管の放熱などにより低くなります。

※6.中間期:外気温(乾球温度/湿球温度)16℃/12℃、水温17℃、沸き上げ温度65℃、沸き上げ終了直前では加熱能力が低下する場合があります。

※7.冬期高温:外気温(乾球温度/湿球温度)7℃/6℃、水温9℃、沸き上げ温度90℃、低外気温時は加熱能力が低下することがあります。沸き上げ終了直前では加熱能力が低下する場合があります。

※8.寒冷地冬期高温:外気温(乾球温度/湿球温度)-7℃/-8℃、水温5℃、沸き上げ温度90℃、低外気温時は加熱能力が低下することがあります。沸き上げ終了直前では加熱能力が低下する場合があります。

※9.運転音は、JIS C 9220に基づき、反響の少ない無響室で測定した数値です。実際に据付けた状態で測定すると、周囲の騒音や反響を受け、表示数値より大きくなるのが普通です。

※10.ヒートポンプユニットは外気温が-25℃でも沸き上げが可能です。但し、貯湯タンク全量が沸き上げができない場合があります。最低気温が-25℃を下回る地域には設置しないでください。